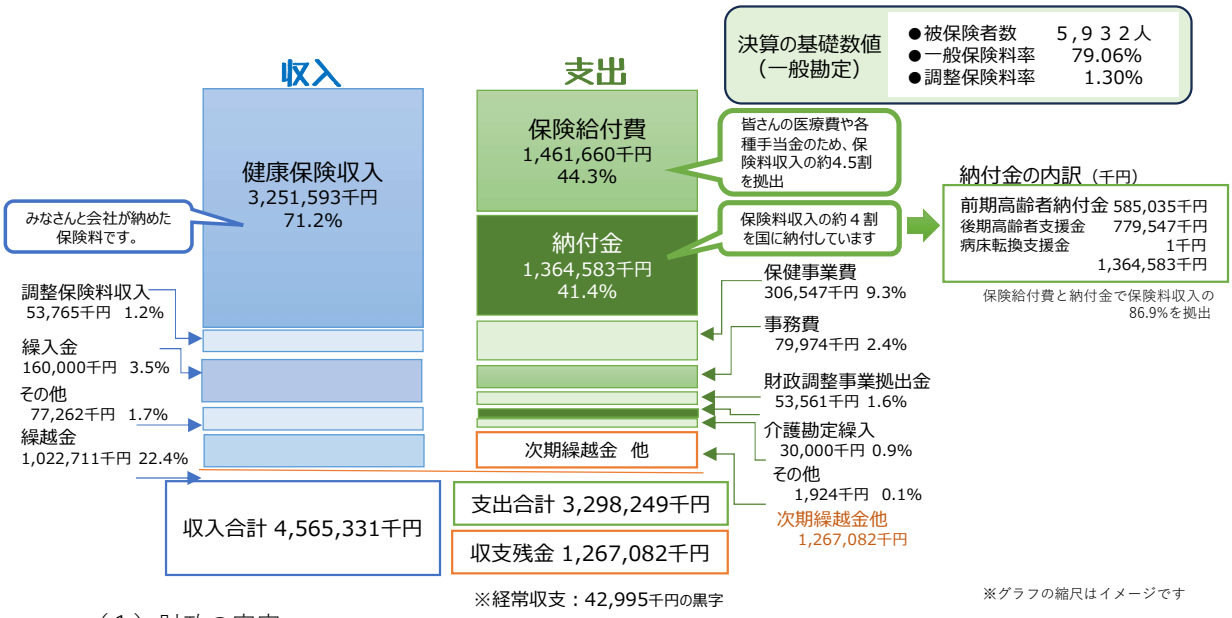
令和６年度　決算のお知らせ

オカムラグループ健康保険組合

６月１９日に行われました健保組合会にて、令和６年度の決算が承認されましたので、報告いたします。

健康保険関連（一般勘定）



※経常収支：42,995千円の黒字

※グラフの縮尺はイメージです

（１）財政の安定

令和５年度に保険料率を引き下げましたが、令和６年度は賃金・賞与の増を受けて保険料収入が増加しました。
このため健康保険収入が保険給付費、納付金の支出合計を上回りました。
令和６年の経常収支は、黒字へ転換できました。（令和５年は3.5億の赤字）
医療費等の保険給付費も、前年より約４％減となりました。保険料給付費を低減するために、収支のバランスを考慮しながら、保健事業を通じて健康づくり・健康増進活動を継続していきます。

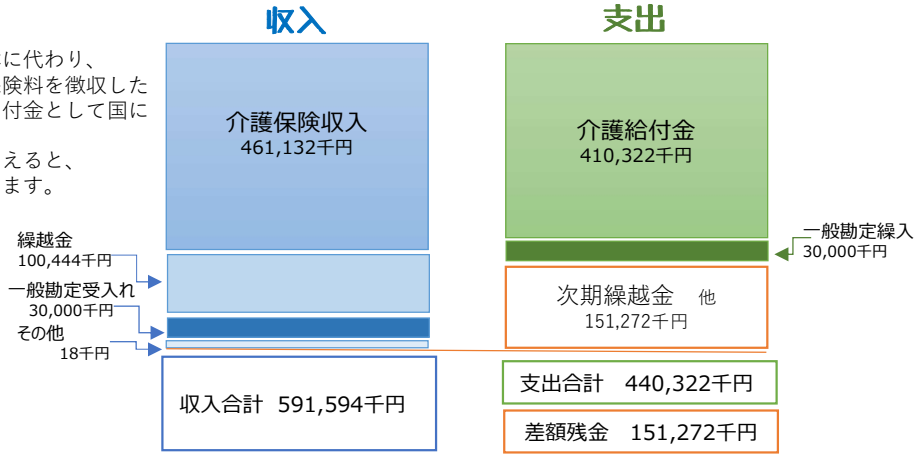
（２）保健事業の充実

財政安定のため、下記の保健事業を実施しました。

特定健康診査事業	被扶養者・任意継続保険者(35歳以上）向けの健康診断実施
特定保健指導事業	健康診断結果から対象者（40歳以上）へ健康指導を実施（動機付け支援、積極的支援）
疾病予防費	・成人病検診（健康診断の法定外検査項目の実施（胃部検診、婦人科検診等）） ・人間ドック利用補助（35歳以上の被保険者・被扶養者） ・若年層向け（40歳以下）の保健指導 ・インフルエンザ予防接種補助　・禁煙、卒煙プログラムの提供 ・健康、メンタル相談　・重症化予防指導　・健康セミナーの実施 ・カフェテリアプラン（健康増進支援）の提供　など

介護保険関連（介護勘定）

健康保険組合では自治体に代わり、
４０歳以上の方の介護保険料を徴収した介護保険収集を、介護納付金として国に納めています。
介護サービス利用者が増えると、
介護納付金総額が増加します。



※グラフの縮尺はイメージです

マイナンバーカード保険証利用のお願い

2025年12月2日以降、現在の「保険証」が利用できません。
早めにマイナ保険証への移行・利用をお願いいたします。